

ベトナムで絵を描くこと



【ベトナム】



レポーター
たけお あきこ さん
(ベトナム・ホーチミン市在住)



▲白い蓮の花です。きれいに咲いている所もちろんきれいです。散り際や、枯れた葉っぱにも愛おしさを感じます。

日本では、川崎市国際交流センター内の図書・資料室に勤務していました。そして、ベトナムに来てから14年、ベトナムの風景を描き始めてから7年が過ぎました。

ベトナムで絵を描き始めたきっかけは…

ネットで見かけたある絵描きさんの絵です。ペンで直接描いた生き生きした線に、きれいな水彩で色が塗ってあり、見ていてとにかく楽しそうという印象でした。

「その人が読んだ師匠の本を読めば私にも描けるかも!」と思い、日本から『絵を描きたいあなたへ』(永沢まこと著)を買ってきてもらいました。そして、「よし、これからは絵を描いていこう。」と心に決めました。すると偶然にも、きっかけになった絵描きさんや師匠の永沢さんとも、ベトナムで会うことができたのです。



▲これはハノイのホアンキエム湖畔のカフェから旧市街を見下ろした所です。テトの一番寒い時期にテラスに陣取って描きました。

それから絵を描いては、ホームページに載せたりしているうちに、いろいろな人が応援してくれるようになりました。ベトナムの旅行会社の卓上カレンダーに毎年絵を描かせてもらったり、ベトナムや日本で個展をしたり、日本の旅行雑誌で絵を紹介してもらったり、ベトナムでスケッチ教室を開いたり、イラストのお仕事もたくさんいただくようになりました。

絵を描くことで生活にも変化が…

絵に出会う前は、現地で仕事をしていたのですが、仕事と家事でいつも忙しく、子育ても大変で



▲私の好きなベトナム北部の街バックハーで描いた1枚です。水牛やアヒルがいて、川が流れていて向こうの家からは夕食の支度で湯気が上がっていました。

した。さらに、停電や断水が当たり前の生活で、ベトナムに住んでいることがちょっと嫌になっていた時期でした。

でも、絵を描き始めると、ベトナムが好きになった頃の新鮮な気持ちに戻ってきたのです。「そういえばベトナムが好きで来たんだよね。ベトナムのこういう所って素敵なんだよね、おもしろいんだよね。」と、温かい目でベトナムを見られるようになっていきました。

また、ベトナムで個展をしてからは、夫も絵を描くことを認めてくれたようで、だんだん応援してくれるようになりました。

ベトナムの魅力は…

以前は田舎がいいなあと思っていたのですが、昔からある都会の町並みや人々も絵としては魅力的です。あとベトナムの魅力というと国民性でしょうか。日本人の常識からするといい加減に感じてイライラしていたことが、最近では人生を楽しむ上で「ちょうどいい加減」と思えることも出てきました。

今は4人目を出産したばかりなので、しばらくは外にスケッチには行けないのですが、これからも、ベトナムの素敵な風景を絵に残せていけたらいいなと思っています。

(文・絵:たけお あきこ さん)

● ブログ : <http://blog.goo.ne.jp/sketchinsaigon/>